



TOPIXスリム化、投資しやすく

TOPIXは10月末に新しい採用基準が適用され、約2年後には銘柄数が大幅に削減されることとなります。その概要や考えられる影響などを確認しておきましょう。

<POINT>

- 小粒な銘柄を除外、一方でプライム市場以外からも採用
- 流動性改善で投資対象としての機能性向上
- 企業価値向上への期待も

銘柄数が約6割に減少！

- 日本取引所グループは2022年4月の東証の市場区分再編後、投資対象としての機能性向上のためTOPIXの組み入れ基準の見直しを行ってきました。

- 10月末から適用される新たな組み入れ基準では、一定の流動性※1基準を設けたうえで、相対的に

※1：市場での取引の頻度

時価総額※2の小さい銘柄を除外する一方、従来の

※2：市場で流通するいわゆる浮動株の時価総額。以下同じ

のプライム市場上場という採用ルールをなくし、基準

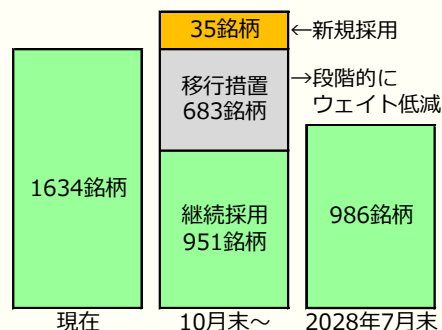
を満たす銘柄は市場区分を問わず採用すること※3としました。

※3：プライム・スタンダード・グロース市場上場銘柄の時価総額を大きい順に並べて足して行き、すでに採用されている銘柄は時価総額合計（銘柄数ではない）の上位97%以内に入れば継続採用、新規採用は96%以内に入ることが条件。

今回は基準日の8月末時点で97%ラインが約420億円、96%が約610億円。2028年以降毎年10月末に定期入れ替えを実施。

- これにより、スタンダード市場・グロース市場から新たに35銘柄が採用される一方、現在の1634銘柄のうち、683銘柄が除外されることになりました。ただし除外される銘柄については、影響を軽減するため、「移行措置」として2028年7月までかけて段階的に組入れウェイトが低減されます。
- 移行措置銘柄がすべて除外された場合、TOPIXの銘柄数は2028年7月末に現在より4割少ない986銘柄となります。（ほかに新規採用・除外等がない場合）

【今回のTOPIX見直しの流れ】



（注）今後の新規採用・除外等を考慮せず
（出所）ちばぎんアセットマネジメント作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 本資料はちばぎんアセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。
- 本資料に記載された当社の意見ならびに予測は資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。また、本資料は当社が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当社が保証するものではありません。本資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



銘柄数削減の影響はないの？

- 銘柄数が減ることによりTOPIXの値が下がるということはありません。
- 除外される銘柄の株価への影響は、「移行措置」が8回に分けてウェイトを低減する仕組みのため、限定的なものになると考えられます。
- 除外される銘柄の指数に占める比率は小さく、ウェイト低減に伴う取引がTOPIXの値動きに与える影響は軽微と考えられます。
- なお、除外される銘柄（移行措置銘柄）は、来年10月に再評価を行い、基準を満たせば残留する可能性もあります。

どんな効果が期待される？

- 流動性の低い銘柄が除外されることにより、インデックス運用における取引コスト（売買により値段が動いてしまうなど）が低減されることで、投資しやすい指数となることが期待されます。（機能性の向上）
- また、流動性の低い銘柄への投資を嫌う海外投資家など、投資家層の拡大も期待されます。
- 企業側においては、TOPIXに採用される、あるいは採用され続けるために時価総額を高める努力が必要なことから、株価を意識した効率的な経営を行う動機づけとなることが期待されます。
- TOPIXから除外された銘柄は、投資対象としての注目度が下がる可能性がありますが、株価下落局面などでインデックス運用の売買に左右されなくなるという面もあります。こうした銘柄を投資対象とする中小型株運用では、TOPIXと異なる値動きがより期待できるようになるとともに、市場に注目されていない「隠れたお宝銘柄」を探す機会が増えることも期待できるかもしれません。

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 本資料はちばぎんアセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。
- 本資料に記載された当社の意見ならびに予測は資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。また、本資料は当社が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当社が保証するものではありません。本資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。